

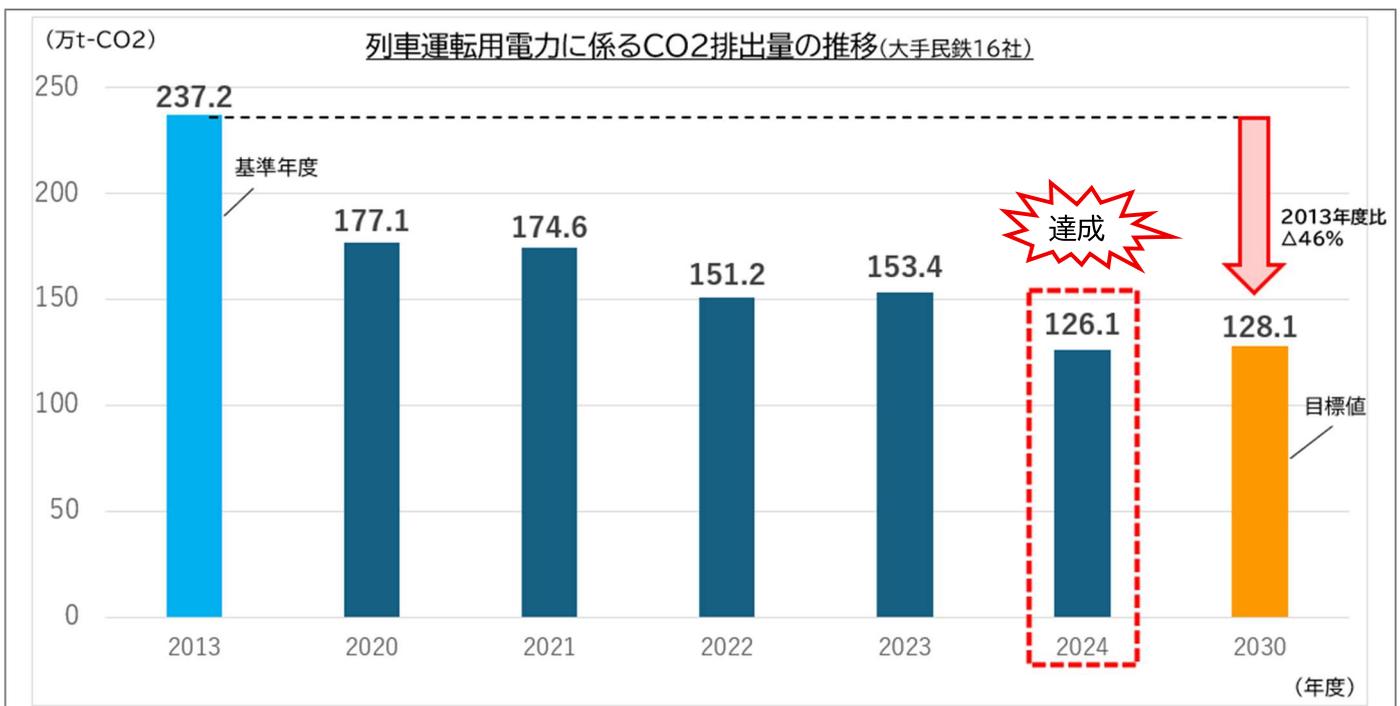


2030年度のCO2排出削減目標を6年前倒しで達成！ ～サステナブルな未来へ。いまこそ鉄道に乗り換えよう。～

一般社団法人日本民営鉄道協会（東京都千代田区、会長 杉山健博）では、2013年より経団連の低炭素社会実行計画（現カーボンニュートラル行動計画）に参画し、脱炭素化の取組みを進めて参りました。2022年11月には「2050年カーボンニュートラルに向けたビジョン」を新たに策定し、2030年度目標も設定したところです。

このたび、2030年度目標である『CO2排出量を2013年度比で46%削減』（大手民鉄16社※全体の運転用電力）を2024年度に**6年前倒しで達成**いたしました。

今後の新しい目標設定につきましては、政府や経団連等の動向、および会員各社の状況を踏まえながら鋭意検討してまいります。



鉄道は極めて環境負荷の低い輸送手段であり、我が国全体の排出量削減にも貢献できることに鑑み、日本民営鉄道協会ではモーダルシフト促進に資する取組みも積極的に進めております。特に、2023年からは鉄道の環境優位性をPRする取組みとして3年連続でJRグループなどとの共同による環境優位性PRポスターの一斉掲出を実施しており、民鉄のみならず鉄道業界一丸となってカーボンニュートラルに取り組んでいます。さらに、2024年には移動手段として鉄道を積極的に選んでいただくきっかけとなることを目指し、環境に優しい鉄道をわかりやすく解説するまんがと動画の配信を開始しました。

今回の目標達成を契機に、こうしたモーダルシフト促進の取組みについてもこれまで以上に力を入れてまいります。

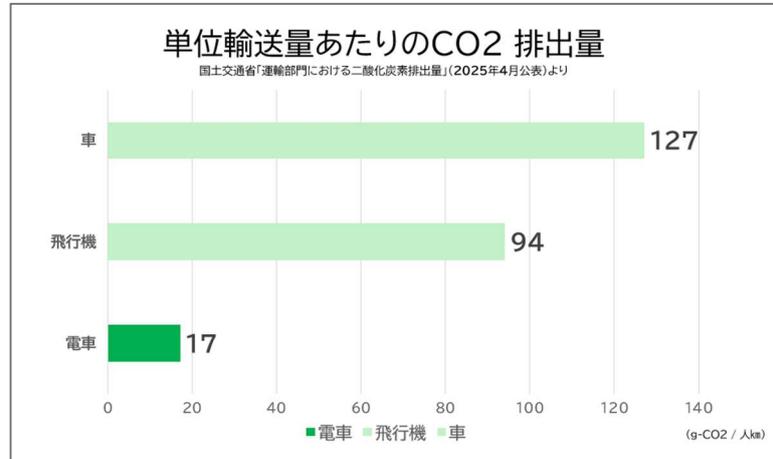
詳細は別紙のとおりです。



2025 年度掲出 ポスターデザイン
(現在掲出中)

【日本民間鉄道協会 環境への取組み】 <https://www.mintetsu.or.jp/eco/index.html>

【鉄道で目指すカーボンニュートラル】 <https://mintetsu-carbon-neutral.jp/>



大手民鉄の素顔 2025 から引用

※大手民鉄 16 社

東武鉄道株式会社 / 西武鉄道株式会社 / 京成電鉄株式会社 / 京王電鉄株式会社

小田急電鉄株式会社 / 東急電鉄株式会社 / 京浜急行電鉄株式会社 / 東京地下鉄株式会社

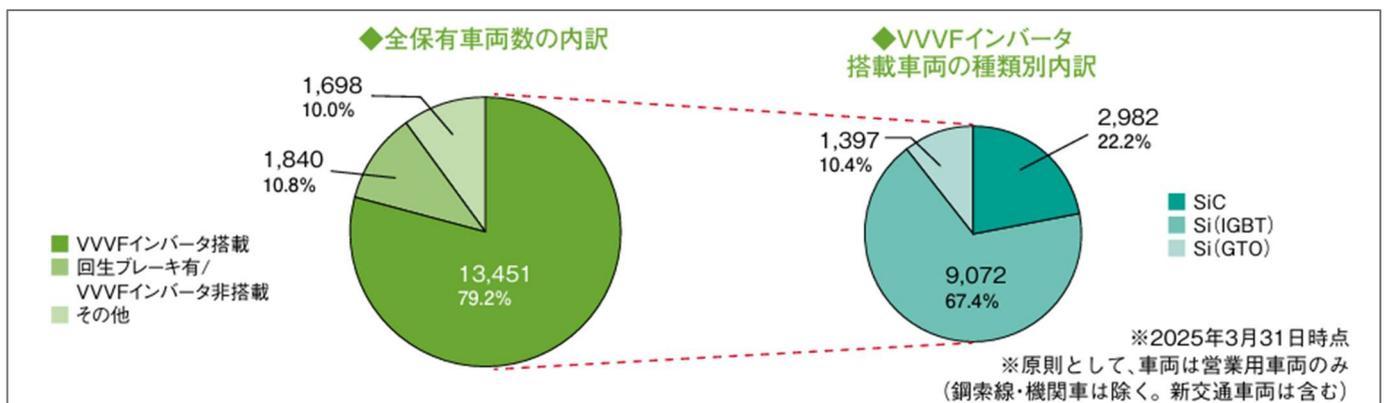
相模鉄道株式会社 / 名古屋鉄道株式会社 / 近畿日本鉄道株式会社 / 南海電気鉄道株式会社

京阪電気鉄道株式会社 / 阪急電鉄株式会社 / 阪神電気鉄道株式会社 / 西日本鉄道株式会社

【別紙】 早期達成の理由

アルミ合金や軽量ステンレスなど車体の軽量化に資する素材の使用や、高効率で消費電力を抑えられるVVVFインバータ制御を採用した、いわゆる「省エネ車両」の導入が各社で進んだことが挙げられます。2024年時点では大手民鉄16社の保有車両の約8割がVVVFインバータ制御方式採用車両となっています。さらに、近年では、最先端のSiC半導体（シリコンカーバイド）を使用した、より高効率なVVVFインバータへの置き換えが進んでおり、更なるCO2排出量削減が期待されます。

そのほか、加速時間の短縮による「省エネ運転」や需要の分散化等による列車運行ダイヤと車両運用の適正化、駅舎の屋根などを活用した太陽光パネル設置や非化石証書の活用によるCO2排出量実質ゼロ運行なども各社で積極的に取り組まれており、早期達成につながりました。



VVVF インバータ (SiC)



性能 (消費電力量) の比較 (一例)